

第1章 生物の特徴

1

生物の多様性と共通性



□ (1) 生物の分類の基本的な単位。	種
□ (2) 世代を重ねて受け継がれていく過程で変化していくこと。	進化
□ (3) 生物が持つ形や性質。	形質
□ (4) 親の形質が子に伝わること。	遺伝
□ (5) 生物の進化にもとづく類縁関係。	系統
□ (6) (5)を表す図で、樹木に似た形に描かれているもの。	系統樹
□ (7) 遺伝情報などを比較し、生物どうしの類縁関係を調べてつくる系統樹。	分子系統樹
□ (8) ゾウリムシなど1個の細胞でできてる生物。	単細胞生物
□ (9) ヒトなど多くの細胞でできている生物。	多細胞生物
□ (10) 遺伝情報を担っている分子。	DNA
□ (11) 核という構造を持つ細胞。	真核細胞
□ (12) 核という構造を持たない細胞。	原核細胞
□ (13) (11)において、核以外の部分。	細胞質
□ (14) 植物細胞では、細胞膜の外側に何があるか。	細胞壁
□ (15) 核の最外層。	核膜
□ (16) (15)にある多数の小さな孔。	核膜孔
□ (17) 核をはじめとするさまざまな構造体。	細胞小器官
□ (18) ほとんどの真核細胞に存在する、呼吸によって生命活動に必要なエネルギーを取り出すはたらきが行われている場所。	ミトコンドリア
□ (19) 光のエネルギーを吸収して光合成が行われている場所。	葉緑体
□ (20) 核やミトコンドリア、葉緑体などの細胞小器官のまわりにある流動性に富んだ基質。	細胞質基質
□ (21) 真核細胞からなる生物。	真核生物
□ (22) 生きた細胞で、細胞小器官が流れるように動く現象。	細胞質流動
□ (23) DNAが核膜によって囲まれていなく、ミトコンドリアや葉緑体などの細胞小器官も見られない細胞。	原核細胞
□ (24) (23)からなる生物。	原核生物